

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その6）

－ B 2 層－

旧石器時代研究プロジェクトチーム

はじめに

当プロジェクトでは、1996 年のかながわ考古学財団研究紀要発刊より 6 ヶ年にわたり「旧石器時代後半における石器群の諸問題」と題して、資料集成を行い、集成データを元にした傾向や問題点の抽出を行い、相模野編年や遺跡間接合資料についても検討を行ってきた。その後は、「神奈川県内における旧石器時代の遺構」として、やはり 6 ヶ年をかけて資料の集成と、そのまとめを行ってきた。2007 年度からは、「神奈川県における旧石器時代の遺物分布」として資料集成を開始しており、これまでに L 1 H 層～L 1 S 層から始まり、前年度は B 1 層～L 2 層出土石器群を対象として、その分布状態の集成結果の一部を掲載するとともに、集成結果から若干のまとめを行った。今後、全ての集成作業が終了した後に、全体を通しての総括を行う予定である。

今年度は、昨年度までに B 1 層～L 2 層までの集成とまとめが終了したため、更に下層の B 2 層出土遺物を対象として、集成作業を行った。昨年度までの B 1 層～L 2 層同様、本層位帰属の遺物も多く、本年度は集成結果のみの掲載となる。次年度以降にまとめ等の作業を行う予定である。（大塚）

第 1 表 B 2 層の遺物分布

No.	遺跡名	出土層位	文化層	調査面積 (m ²)	各集中 No.	分布範囲 (m)	石器点数	分布密度	分布状態	器種組成	石材組成	備考 (共伴遺構など)
70	栗原中丸	B2U	VI	12000	1	8.0×3.0	31	1.29	散漫	ナ6、尖様1、RF2、UF1、F16、Ch4、磨1	黒、細凝、粘、玄	
70	栗原中丸	B2LLL	VII	12000	1	8.0×8.0	16	0.25	散漫	ナ、楔、核、F、Ch	黒、細凝、粘 (文化層全体)	
70	栗原中丸	B2LLL	VII	12000	2	0.5×0.8	10	25.00	集中	搔、F、Ch	黒、細凝、粘 (文化層全体)	
70	栗原中丸	B2LLL	VII	12000	3	3.3×3.5	11	0.95	散漫	ナ、核、F、Ch	黒、細凝、粘 (文化層全体)	
73	かしわ台駅前	B2U	IV	3800	1	4.0×0.1	4	10.00	散漫	UF、F	黒	
73	かしわ台駅前	B2LM	V	3800	1	4.5×1.0	7	1.56	散漫	F、核	凝	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LU	VII		1	9.0×6.0	67	1.24	散漫	ナ5、錐1、削1、UF1、RF2、F51、Ch1、斧1、核4	黒、硬細凝、チ、頁、ガ黒安、ホ、結晶片岩、珪質岩 (文化層全体)	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LU	VII		2	径6.0	164	5.80	散漫	ナ4、削2、F139、Ch14、核5	黒、硬細凝、チ、頁、ガ黒安、ホ、結晶片岩、珪質岩 (文化層全体)	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LU	VII		3	1.6×1.0	3	1.88	散漫	F3	黒、硬細凝、チ、頁、ガ黒安、ホ、結晶片岩、珪質岩 (文化層全体)	

旧石器時代研究プロジェクトチーム

No.	遺跡名	出土層位	文化層	調査面積 (m ²)	各集中 No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備考 (共伴遺構など)
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2UU	VI	—	1	径4.0	75	5.97	散漫	ナ5、削2、搔 1、磨1、RF1、 F47、Ch18	黒、ガ黒安、 細斑、硬細 凝、安	礫群1〜4
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2UU	VI	—	2	8.0×5.6	76	1.69	散漫	ナ5、錐1、削 1、磨1、RF1、 F53、Ch10、核4	黒、ガ黒安、 細斑、硬細 凝、安	礫群5〜8
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2UU	VI	—	遺構 外	—	36	—	—	ナ3、楔1、F32	—	遺構外
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	1	径4.0	866	68.94	密集	ナ16、角2、削 7、磨10、敲3、 台1、RF1、 UF1、F674、 Ch120、核31	黒40、チ18、 珪頁11、珪質 岩2、ヒン2、 ホ91、硬細凝 629、流50、ガ 黒安10、不明 13	礫群3〜9
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	2	径6.0	31	1.09	散漫	ナ1、磨1、 F24、Ch2、核3	黒10、ガ黒安 6、硬細凝14、 不明1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	3	径7.0	6	0.15	極めて 散漫	F5、核1	ホ1、硬細凝 4、不明1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	4	径8.0	5	0.09	極めて 散漫	F4、Ch1	黒1、硬細凝 1、不明3	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	5	径10.0	45	0.57	散漫	磨1、F40、 Ch2、核2	黒8、硬細凝 30、ガ黒安6、 不明1	礫群10〜12
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	6	径6.0	11	0.38	散漫	F10、Ch1	不明11	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LU	VIII	—	7	径8.0	154	3.06	やや 散漫	ナ6、彫3、錐 1、RF1、UF1、 F110、Ch23、核 9	黒31、硬細凝 113、ガ黒安10	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	1	径10	27	0.34	散漫	ナ1、F20、 Ch3、敲1、核2	黒9、ガ黒安 4、チ2、硬細 凝11、デイサ イト1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	2	径4.0	73	5.81	集中	ナ2、UF1、 F65、Ch2、核3	黒12、ガ黒安 2、ホ16、硬細 凝42、黒頁1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	3	径4.0	131	10.43	集中	ナ4、UF1、敲 1、F109、Ch7、 核9	黒41、鉄石英 1、ガ黒安2、 流2、ホ24、硬 細凝61	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	4	径4.0	20	1.59	散漫	削1、UF1、 F15、核3	黒4、ホ2、ガ 黒安2、硬細凝 12	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	5	径16.0	718	3.57	集中	ナ41、角1、尖 2、搔2、削4、 UF1、RF5、敲 1、F593、 Ch44、核21、磨 3	黒272、ガ黒安 61、ホ17、チ 2、硬細凝 287、流1、珪 頁1、粘1、黒 頁72、安1、不 明3	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	6	径8.0	247	4.92	集中	ナ5、削2、 UF1、RF1、 F220、Ch3、核 14、原石1	黒77、ガ黒安 80、ホ18、硬 細凝68、中凝3	

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その6）

No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各 集中 No.	分布 範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備 考 (共伴遺構など)
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	7	径10.0	68	0.87	散漫	ナ1、RF1、 F61、核5	黒5、ガ黒安 5、ホ3、硬細 凝53、流凝1、 細安1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	8	径16.0	163	0.81	散漫	ナ4、彫1、削 2、搔1、RF1、 UF2、磨7、 F132、Ch4、核9	黒80、ガ黒安 42、ホ8、硬細 凝26、不明7	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	9	径8.0	181	3.60	散漫	ナ7、角1、削 1、搔1、RF1、 UF6、敲1、磨 2、F146、Ch3、 核10	黒92、ガ黒安 40、硬細凝 45、珪頁2、不 明2	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	10	径8.0	215	4.28	集中	ナ12、削2、搔 1、楔1、磨1、 F185、Ch4、核 8、原石1	黒93、ガ黒安 30、ホ12、チ 2、硬細凝76、 瑪1、不明1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	11	4.0×12.0	134	2.79	散漫	ナ5、削1、敲 2、磨8、F109、 Ch5、核4	黒76、ガ黒安 4、ホ3、チ2、 硬細凝39、珪 質岩1、黒頁1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	12	16.0×8.0	179	1.40	散漫	ナ8、削3、 RF1、UF1、敲 1、F155、Ch1、 核9	黒35、ガ黒安 96、ホ14、硬 細凝33、中凝1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	13	径4.0	21	1.67	散漫	ナ1、磨1、 F17、核2	黒6、ガ黒安 7、ホ1、硬細 凝6、不明1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	14	径10.0	177	2.25	散漫	ナ8、削2、搔 2、RF2、UF1、 F156、Ch1、核5	黒106、ガ黒安 19、ホ5、チ 10、硬細凝 28、流1、瑪 1、珪質岩6、 黒頁1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	15	径8.0	72	1.43	散漫	ナ1、UF1、楔 1、磨11、F56、 核1、原石1	黒50、ホ1、チ 1、硬細凝9	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	16	径8.0	81	1.61	散漫	敲1、F70、 Ch3、核7	黒48、ガ黒安 4、硬細凝24、 安1、珪頁4	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	17	径8.0	97	1.93	散漫	ナ4、削1、 RF1、UF1、楔 1、F77、Ch11、 原石1	黒77、ガ黒安 7、ホ1、硬細 凝12	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	18	径8.0	75	1.49	散漫	ナ1、削2、搔 1、RF1、UF1、 磨9、F57、 Ch1、核2	黒21、ガ黒安 14、ホ2、チ 1、硬細凝27、 珪質岩1、不明 9	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	19	径6.0	45	1.59	散漫	錐1、RF1、 F40、Ch2、核1	黒34、ガ黒安 2、硬細凝9	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	20	径12.0	39	0.35	散漫	ナ2、削3、搔 3、F28、核3	黒7、ガ黒安 10、チ1、硬細 凝18、流2、不 明1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	21	径4.0	33	2.63	散漫	ナ3、敲1、 F26、Ch2、核1	黒6、ガ黒安 7、チ1、硬細 凝18、安1	
74	柏ヶ谷 長ヲサ	B2LM	IX	—	22	径6.0	11	0.39	散漫	F7、Ch3、核1	黒6、ガ黒安 1、硬細凝4	

旧石器時代研究プロジェクトチーム

No.	遺跡名	出土層位	文化層	調査面積(m ²)	各集中No.	分布範囲(m)	石器点数	分布密度	分布状態	器種組成(※1)	石材組成(※2)	備考(共伴遺構など)
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LM	IX	—	23	径12.0	33	0.29	散漫	ナ3、RF2、敲1、F22、Ch3、核2	黒13、ガ黒安2、ホ2、硬細凝16	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LM	IX	—	24	径4.0	15	1.19	散漫	磨6、F7、核2	黒1、ガ黒安1、チ2、硬細凝5、不明6	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LL	X	—	1	17.0×11.0	84	0.45	散漫	ナ2、角1、削1、搔2、RF2、F64、Ch3、核9	黒、ガ黒安、硬細凝、他	礫群12～17、配石10
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LL	X	—	2	20.0×12.0	163	0.67	散漫	ナ10、角1、削4、搔1、RF1、UF2、F126、Ch4、核13、原石1	黒、ガ黒安、硬細凝、他	礫群6～9・11、配石6～9
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LL	X	—	3	—	11	0.88	散漫	F9、核2	黒、ガ黒安、流、ホ、チ、硬細凝(文化層全体)	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LL	X	—	4	—	11	0.88	散漫	F8、核3	黒、ガ黒安、流、ホ、チ、硬細凝(文化層全体)	
74	柏ヶ谷長ヲサ	B2LLL	X I	—	単	—	不明	—	—	ナ・角・F	—	
81	月見野上野第1地点	B2U-B2L境	VIII	約8500/4	1	3.0×2.0	47	7.83	集中	ナ1・角2(3)・角未1(3) F39	黒3・玄44	
81	月見野上野第1地点	B2U-B2L境	VIII	約8500/4	外	—	2	—	—	ナ1・UF1	黒1・凝1	
87	長堀南	B2LU	VI	5300	1	4.2×3.0	21	1.66	散漫	角1・スク1・RF1・F16・核2	黒・他	
92	上草柳第2地点	B2LU	II	248	A	6.3×5.6	546	15.51	密集	ナ7、角9、スク5、RF1、UF2、F320、Ch197、核3、不明2	黒540、チ1、玄1、頁4	
92	上草柳第2地点	B2LU	II	248	B	8.3×7.5	20	0.32	散漫	ナ2、角1、F13、Ch3、核1	黒19、不明1	
92	上草柳第2地点	B2LU	II	248	外	—	11	—	—	削1、F8、核2、	黒9、チ1、水1	
96	寺尾	B2UL-B2LUU	V	1200	1	2.0×1.5	6	2.00	散漫	ナ・UF・F・核・磨	玄・砂・輝	
99	早川天神森	B2LU	VI	3850	1	—	3	—	—	F、敲、礫片	黒、玄、細凝	
99	早川天神森	B2LU	VI	3850	2	15.0×8.0	16	0.13	散漫	搔2、磨3、F8、核2、礫1	黒、玄、細凝	
99	早川天神森	B2LU	VI	3850	3	4.0×1.0	21	5.25	集中	磨1、核1、礫・礫片19	黒、玄、細凝、粗凝	
102	吉岡C区	B2	—	—	1	径3.2	5	0.62	散漫	ナ1、切1、錐1、F1、Ch1	黒2、硬細凝3	
102	吉岡C区	B2	—	—	2	径3.6	16	1.57	散漫	ナ1、削2、UF1、F10、Ch1、核1	黒2、硬細凝14	
102	吉岡C区	B2	—	—	3	3.3×2.4	3	0.38	散漫	磨1、台2	中凝1、斑2	

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その6）

No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各 集中 No.	分布 範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備 考 (共伴遺構など)
102	吉岡C区	B2	—	—	4	3.4×3.0	27	2.65	散漫	ナ1、切1、 RF1、F15、 Ch1、核4、礫器 1、敲2、磨1	黒1、硬細凝 20、中凝1、ガ 黒安1、安1、 ホ1、斑2	
102	吉岡C区	B2	—	—	5	径3.5	20	2.08	散漫	角1、搔1、彫 1、RF1、UF1、 F7、核3、敲1、 磨4	硬細凝12、中 凝2、ガ黒安 1、安5	
102	吉岡C区	B2	—	—	6	3.2×1.8	4	0.69	散漫	切1、Ch1、核 1、礫器1	硬細凝3、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	7	径8.0	6	0.12	散漫	削1、F2、Ch2、 磨1	黒4、安1、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	8	径7.0	40	1.04	散漫	ナ2、搔2、楔 1、F9、Ch26	黒35、硬細凝 2、ガ黒安3	
102	吉岡C区	B2	—	—	9	4.6×2.2	8	0.79	散漫	ナ1、角1、F3、 Ch2、核1	黒8	
102	吉岡C区	B2	—	—	10	4.6×3.7	4	0.24	散漫	楔1、F1、敲1、 磨1	硬細凝1、中凝 1、ガ黒安1、 砂1	
102	吉岡C区	B2	—	—	11	径4.6	10	0.60	散漫	RF1、F6、Ch2、 核1	黒9、硬細凝1	
102	吉岡C区	B2	—	—	12	4.0×2.3	5	0.54	散漫	切1、UF1、F2、 核1	黒1、硬細凝 3、ガ黒安1	
102	吉岡C区	B2	—	—	13	径5.6	20	0.81	散漫	ナ3、切3、削 2、RF2、F8、 Ch1、磨1	黒16、硬細凝 2、ガ黒安1、 安1	
102	吉岡C区	B2	—	—	14	3.4×2.0	12	1.76	散漫	ナ1、F3、Ch7、 核1	黒12	
102	吉岡C区	B2	—	—	15	径4.0	28	2.23	散漫	ナ1、切1、彫 1、RF1、F15、 Ch6、核1、礫器 1、敲1	黒26、硬細凝 1、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	16	2.5×1.4	3	0.86	散漫	UF1、F2	珪頁1、黒頁 1、ガ黒安1	
102	吉岡C区	B2	—	—	17	12.7×8.1	75	0.73	散漫	ナ5、切7、削 1、搔1、彫1、 削片2、RF5、 F19、Ch28、核 5、台1	黒70、硬細凝 1、ガ黒安1、 安1、ホ2	
102	吉岡C区	B2	—	—	18	7.0×5.7	38	0.95	散漫	切1、彫2、楔 1、RF2、UF1、 F13、Ch14、核 1、磨3	黒12、チ15、 硬細凝8、安 2、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	19	13.2×7.6	169	1.68	散漫	ナ4、切4、角 1、削4、搔2、 彫3、RF4、 F64、Ch41、核 14、磨25、台3	黒75、チ22、 硬細凝32、ガ 黒安11、安 22、ホ1、斑6	
102	吉岡C区	B2	—	—	20	径13.7	103	0.70	散漫	ナ1、削1、搔 1、RF2、UF2、 F29、Ch21、核 6、皿1、磨36、 台1、砥1、原1	黒46、チ2、硬 細凝7、中凝 2、流凝1、頁 1、瑪1、ガ黒 安3、安34、ホ 6	
102	吉岡C区	B2	—	—	21	9.0×5.4	54	1.11	散漫	切1、角1、削 2、搔5、彫1、 RF1、F20、 Ch20、核3	黒3、硬細凝 18、中凝2、ホ 6	

旧石器時代研究プロジェクトチーム

No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (m ²)	各 集中 No.	分布 範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備 考 (共伴遺構など)
102	吉岡C区	B2	—	—	22	2.2×1.3	20	6.99	集中	RF1、蔽2、磨16、台1	黒1、安19	
102	吉岡C区	B2	—	—	23	6.0×2.5	4	0.27	散漫	搔1、F3	黒1、硬細凝3	
102	吉岡C区	B2	—	—	24	8.6×7.5	120	1.86	散漫	ナ1、切5、搔6、RF2、UF1、F20、Ch59、核4、蔽1、磨18、台3	黒87、硬細凝4、ガ黒安6、安22	
102	吉岡C区	B2	—	—	25	2.8×2.3	4	0.62	散漫	F1、核2、磨1	黒1、硬細凝2、安1	
102	吉岡C区	B2	—	—	26	7.2×3.3	7	0.29	散漫	切1、RF1、Ch3、核1、磨1	黒1、チ1、硬細凝2、頁1、ガ黒安1、安1	
102	吉岡C区	B2	—	—	27	11.0×8.5	166	1.78	散漫	ナ3、切11、角2、削3、搔4、錐2、RF4、UF1、F45、Ch54、核8、蔽1、磨28	ガ黒安4、ホ11、黒105、硬細凝16、中凝1、安29	
102	吉岡C区	B2	—	—	28	7.2×4.6	309	9.33	集中	ナ5、切10、角4、搔16、楔1、錐1、RF5、UF2、F88、Ch129、核16、皿1、磨26、台3、砥2	黒180、チ1、硬細凝92、瑪1、ガ黒安2、ホ1、安32	
102	吉岡C区	B2	—	—	29	8.1×5.5	37	0.83	散漫	ナ2、切1、角1、RF1、F10、Ch18、磨4	黒28、硬細凝5、安4	
102	吉岡C区	B2	—	—	30	9.7×4.5	23	0.53	散漫	角1、搔1、UF1、F7、Ch3、皿1、磨9	黒7、硬細凝5、安10、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	31	10.0×5.2	138	2.65	散漫	ナ7、切4、角2、削1、搔5、彫3、削片2、RF6、UF2、F40、Ch53、核4、磨9	黒105、チ2、硬細凝17、珪頁1、安9、ホ4	
102	吉岡C区	B2	—	—	32	5.9×5.5	181	5.58	集中	ナ1、切4、削4、搔2、RF7、UF2、F45、Ch34、核15、蔽1、皿5、磨57、台4	黒66、硬細凝28、瑪1、ガ黒安18、安67、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	33	2.6×1.1	4	1.40	散漫	磨4	安4	
102	吉岡C区	B2	—	—	34	9.4×5.5	28	0.54	散漫	角1、削1、搔4、彫2、F4、Ch3、核2、磨11	黒9、硬細凝8、安11	
102	吉岡C区	B2	—	—	35	2.4×1.4	4	1.19	散漫	錐1、RF1、F2	黒1、硬細凝2、ホ1	
102	吉岡C区	B2	—	—	36	7.9×3.5	56	1.19	散漫	角1、F10、Ch41、核4	黒46、硬細凝9、硬頁1	
103	吉岡D区	B2U	—	—	1	8.0×7.0	85	1.52	散漫	ナ6、切1、角1、削2、搔4、彫1、RF5、UF5、F36、Ch17、核5、礫器1、蔽1	黒32、チ1、硬細凝37、中凝2、流凝2、ガ黒安7、ホ4	
103	吉岡D区	B2U	—	—	2	径4.6	75	4.52	集中	ナ4、切3、角3、彫1、RF11、UF1、F6、Ch46	黒73、チ1、硬細凝1	

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その6）

No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (m ²)	各 集中 No.	分布 範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備 考 (共伴遺構など)
103	吉岡D区	B2U	—	—	3	2.2×2.0	16	3.64	集中	F3、核1、 Ch12、核1	黒16	
103	吉岡D区	B2U	—	—	4	1.5×0.7	8	7.62	集中	ナ1、F2、核4、 台1	黒2、硬細凝 4、ガ黒安1、 輝1	
103	吉岡D区	B2U	—	—	5	11.2×5.2	10	0.17	散漫	ナ1、切1、削 1、彫2、F4、 Ch1	黒8、瑪1、ガ 黒安1	
171	原口	B2	II (温 室A エリア)	73	1	4.0×2.6	66	6.30	やや 散漫	ナ1、角1、搔1、 RF1、核1、F類 61	黒43、ガ黒安 15、硬細凝8、	
192	草柳一丁目	B2U- B2LU	—	148	1	6.2×5.5	169	4.96	中心 部濃 く、 回り 散漫	ナ・スク・彫・ RF・F・核	凝・チ、安、 黒	
266	小園前畑	—	—	330	A	径5.0	44	1.76	散 漫?	ナ2、RF2、核 5、F35	頁1、凝36、安 4、不明3	
266	小園前畑	—	—	330	B	不明	5	—	—	ナ1、角?1、F3	玄1、凝4	
95	福田札ノ辻	L2~ B2U(B 2U)	IV	144	1	2.1×1.6	10	3.00	集中	UF2、F2	黒10	
95	福田札ノ辻	B2L	VI	144	1	1.6×1.6	21	8.20	やや 密集	ナ1、F20	黒21	
243	本入こざつ原	B2	IV	6200	1	2.5×0.5	5	4.00	密集	ナ1、角1、 RF1、F2	黒2、凝1、頁1、 ホ1	
274	地蔵坂	B2UU	—	—	1ヶ所	不明	54	—	—	ナ・搔・UF・ RF・F・核	—	
274	地蔵坂	B2UL	—	—	3ヶ所	不明	94	—	—	ナ・削・UF・ RF・F・核・磨	—	
274	地蔵坂	B2LLL	—	—	1ヶ所	不明	9	—	—	ナ・RF・F・核	—	
275	上土棚南 6次	L2- B2L (B2U 集中)	I	323	1-1	径2.0	12	3.00	散漫	核2、F10	チ7、ホ4、安1	
275	上土棚南 6次	L2- B2L (B2U 集中)	I	323	1-2	—	不明	—	—	ナ、搔、削、 核、F	黒、安、他	
275	上土棚南 6次	L2- B2L (B2U 集中)	I	323	1-3	3.0×10.0	不明	—	—	ナ、搔、削、 核、F	黒、凝、砂、 頁、他	
275	上土棚南 6次	L2- B2L (B2U 集中)	II	323	2-1	径5.0	不明	—	—	角、ナ、搔、 削、彫、核、F	ホ、黒、砂、 凝、チ、頁、 安	

旧石器時代研究プロジェクトチーム

No.	遺跡名	出土層位	文化層	調査面積 (m ²)	各集中No.	分布範囲 (m)	石器点数	分布密度	分布状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備考 (共伴遺構など)
275	上土棚南6次	L2-B2L (B2U集中)	II	323	2-2	4.0×12.0	不明	—	—	角、ナ、掻、削、彫、核、F	ホ、黒、凝、チ、頁、安	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	1	8.0×3.0	96	4.00	集中	ナ7、挟入1、RF1、UF1、F30、礫55	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	2	6.7×3.8	107	4.20	散漫	ナ9・角1、スク1、RF8、UF3、核6、F54、礫23	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	3	4.4×3.5	102	6.60	散漫	ナ7、スク1、RF2、UF2、核4、F56、Ch30	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	4	5.0×3.4	47	2.76	求心的	ナ7、RF1、F21、Ch18	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	5	3.4×2.2	27	3.60	散漫	ナ2、スク1、RF2、核4、F13、Ch5	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	6	5.0×4.0	29	1.45	北西部に偏る	ナ3、RF3、核1、F21、Ch1	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	7	3.2×2.0	28	4.37	南側に偏る	ナ5、スク1、核1、F11、Ch10	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	8	径3.8	23	2.03	散漫	ナ2、角1、RF3、UF1、核1、F14、Ch1	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	9	4.0×2.4	23	2.39	散漫	ナ4、スク3、UF2、核2、F9、Ch3	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	10	5.0×1.2	20	3.33	散漫	ナ3、RF2、C2、F9、Ch4	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	11	6.0×4.6	24	0.86	散漫	ナ2、スク1、核3、F14、Ch3	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	12	6.2×1.6	7	0.70	散在	ナ1、尖2、RF1、F3	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	13	2.6×1.8	7	1.49	散漫	F6、Ch1	—	
308	高座渋谷団地	B2U～B2L	V	2960	14	—	—	—	—	ナ1、F1	—	
327	上草柳遺跡群大和配水池内	B2UL	VIII	3849	1	5.0×3.0	7	0.47	散漫	掻1、RF1、F5	凝1、チ3、頁3	
327	上草柳遺跡群大和配水池内	B2UL	VIII	3849	2	3.1×2.3	10	1.40	散漫	ナ2、RF1、F7	チ6、頁4	
327	上草柳遺跡群大和配水池内	B2UL	VIII	3849	3	2.0×1.3	5	1.90	散漫	ナ1、F4	チ3、頁2	
327	上草柳遺跡群大和配水池内	B2UL	VIII	3849	4	1.3×0.9	5	4.27	散漫	ナ1、F4	凝1、チ3、ホ1	
327	上草柳遺跡群大和配水池内	B2UL	VIII	3849	5	3.1×1.7	8	1.51	散漫	ナ1、掻1、F5、核1	黒3、凝2、チ3	
327	上草柳遺跡群大和配水池内	B2LL	IX	3849	1	2.3×1.4	9	2.79	散漫	F6、礫器3	黒5、頁4	

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その6）

No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各 集中 No.	分布 範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 (※1)	石材組成 (※2)	備 考 (共伴遺構など)
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	2	5.0×3.2	46	2.89	散漫	ナ1、彫1、楔 3、RF2、F38、 蔽1	黒37、チ8、砂 1	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	3	4.9×3.3	31	1.92	散漫	搔1、楔2、 UF3、F25	黒25、安1、チ 1、頁4	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	4	5.2×3.0	49	3.14	散漫	搔1、楔5、 RF3、UF10、 F28、核2	黒45、チ3、頁 1	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	5	3.8×2.2	8	0.96	散漫	彫1、F7	黒2、チ3、頁3	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	6	2.1×1.3	11	4.03	散漫	楔2、RF3、F5、 核1	黒5、安1、チ 2、頁3	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	7	1.5×0.9	6	4.44	散漫	楔1、F5	チ1、頁5	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	8	1.5×1.2	5	2.78	散漫	ナ2、UF1、F2	黒3、チ1、頁1	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	9	3.5×1.9	11	1.65	散漫	搔1、楔1、F7、 核2	黒11	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	10	4.6×1.0	8	1.74	散漫	搔1、UF1、F6	黒8	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	11	5.7×2.4	18	1.32	散漫	ナ2、UF2、 F12、核2	黒16、頁1、ホ 1	
327	上草柳遺跡群 大和配水池内	B2LL	IX	3849	12	2.3×0.8	10	5.43	散漫	F10	黒10	
334	鷹見塚	B2L	遺物 群V	1406	1	2.8×2.5	29	4.14	散漫	角1、削3、 RF1、UF4、 F18、核2	硬細凝17、黒 12	
334	鷹見塚	B2L	遺物 群V	1406	2	0.7×0.3	3	14.29	集中	削1、F1、台1	黒2、中凝1	
348	神明若宮 地区内 C地区	L2LL ～ B2UU	III	約285 ㎡	1	0.6×2.2	23	1.74	散漫	ナ6・UF4・F9・ Ch2・核2	黒・凝	
348	神明若宮 地区内 C地区	L2LL ～ B2UU	III	約285 ㎡	2	5.4×3.8	23	1.12	散漫	ナ3・F14・Ch6	黒・安	
359	当麻亀形	L2L	III	—	1	4.6×3.3	49	3.23	集中	ナ3、RF3、 UF1、核3、F39	黒ほか	
360	真田北金目	B1L	B1 下部	277.2	S1	7.4×7.0	307	5.93	集中	ナ7、削1、搔 1、RF3、核30、 刃1、蔽1、F263	黒、チ、細 凝、火礫凝、 ホ、角閃安、 輝石安	

※1 器種組成 (ナ:ナイフ形石器 槍:槍先形尖頭器 搔:搔器 削:削器 スク:スクレイパー 彫:彫器 楔:楔形石器 叩:叩石 打斧:打製石斧
台:台石 核:石核 刃:刃器 UF:使用痕ある剥片 RF:調整痕ある剥片 鏃:鏃器)

※2 石 材 (ガ安:ガラス質黒色安山岩 安:安山岩 角閃安:角閃石安山岩 粘:粘板岩 黒:黒曜石 チ:チャート 砂:砂岩 頁:頁岩
凝頁:凝灰質頁岩 凝:凝灰岩 硬細凝:硬質細粒凝灰岩 珪凝:珪質凝灰岩 火礫凝:火山礫凝灰岩 溶結凝:溶結凝灰岩
石閃:石英閃緑岩 花閃:花崗閃緑岩 泥:泥岩 斑:斑岩 細斑:細粒斑岩 ホ:ホルンフェルス 珪泥:珪質泥岩
硬砂:硬質砂岩)

引用文献

- 70 鈴木次郎 1984 「第V章 第7節 第VI文化層」『神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告3 栗原中丸遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター p. p. 293-297
- 73 小池 聡 ほか 1987 「4. 第IV文化層」『相武考古学研究所調査報告第3集 かしわ台駅前遺跡』相武考古学研究所 p. p. 63-65
- 74 下角圭司・服部隆博 1983 「IV 第8節 第VII文化層」『海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡』柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団 p. p. 32-37
- 74 下角圭司・服部隆博 1983 「IV 第7節 第VI文化層」『海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡』柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団 p. p. -31
- 74 下角圭司・服部隆博 1983 「IV 第9節 第VIII文化層」『海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡』柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団 p. p. 38-42
- 74 下角圭司・服部隆博 1983 「IV 第10節 第IX文化層」『海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡』柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団 p. p. 43-56
- 74 下角圭司・服部隆博 1983 「IV 第11節 第X文化層」『海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡』柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団 p. p. 57-61
- 74 下角圭司・服部隆博 1983 「IV 第12節 第XI文化層」『海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡』柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団 p. p. 62-63
- 81 相田 薫 1986 「第VI章 第8節 第VIII文化層」『神奈川県大和市文化財調査報告書 第21集 つきみ野遺跡群上野遺跡第一地点 発掘調査報告書』 p. p. 697-714
- 87 麻生順司 1987 「第三章 第6節 第VI文化層」『神奈川県大和市文化財調査報告書 第28集 長堀南遺跡発掘調査報告書』大和市教育委員会 p. p. 198-208
- 92 大和市教育委員会 1984 「第V章 上草柳第2地点遺跡 第5節 第II文化層」『大和市文化財調査報告書第15集 一般国道246号(大和・厚木バイパス) 地域内遺跡発掘調査報告II』大和市教育委員会 p. p. 151-217
- 96 白石浩之・鈴木次郎 1980 「第V章 第6節 第V文化層」『神奈川県埋蔵文化財調査報告 18 寺尾遺跡』神奈川県教育委員会 p. p. 179-183
- 99 岡本孝之・鈴木次郎 1983 「第7章 第6節 第VI文化層」『神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告2 早川天神森遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター p. p. 361-376
- 171 畠中俊明 2002 「第四章遺構と遺物 第2節 旧石器時代 第II文化層(B2層相当)の調査」『かながわ考古学財団調査報告 135 原口遺跡IV』 p. p. 383-560
- 192 加藤晋平 1979 「V 出土石器」『大和市草柳一丁目遺跡』草柳一丁目遺跡調査会 p. p. 13-17
- 266 鈴木次郎・小野正敏 他 1972 「IV 出土した石器と第III期の石器群」『綾瀬町文化財調査報告 第一集 一小園前畑遺跡発掘調査報告書』 p. p. 19-28
- 243 高村公之・中根 賢 1996 「第四章 第4節 第IV文化層」『かながわ考古学財団調査報告 13 本入こざつ原遺跡』 p. p. 72-77
- 274 鈴木次郎・矢島國雄 1974 「V 出土した石器と石器群の問題」『綾瀬町文化財報告 第二集 地藏坂遺跡発掘調査報告書』 p. p. 18-21
- 275 矢島國雄 1996 「第2章 第2節 市内の遺跡」『綾瀬市史 9 別編考古』 p. p. 206-247
- 308 小池 聡 1995 「第四章 第6節 第V文化層」『大和市県営高座渋谷団地内遺跡』 p. p. 85-140
- 327 麻生順司 2008 「第二章 後期旧石器時代 第8節 第VIII文化層・第9節 第IX文化層」『神奈川県大和市上草柳遺跡群大和配水池内遺跡』I 玉川文化財研究所 p. p. 219-283
- 334 松田光太郎ほか 2004 「第三編 第3章 第3節 第3項 旧石器時代遺物群V」『かながわ考古学財団調査報告 171 山ノ神遺跡 鷹見塚遺跡』財団法人かながわ考古学財団 p. p. 283-308
- 348 小池 聡 1997 「第V章 C区の調査 第5節 旧石器時代の調査 (3) 第III文化層」『神明若宮地区内遺跡』神明若宮地区内遺跡発掘調査団 p. p. 247-263
- 353 鈴木啓介・八重畑ちか子 2001 「第二章第2節 予備調査」『東国歴史考古学研究所調査報告第28集『藤沢市No.468 遺跡発掘調査報告書』』東国歴史考古学研究所 p. p. 4-5